

スピリッツ

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校



非接触型体温計寄贈（工学研究部）

12月16日(水)に、工学研究部6名の生徒が製作した「非接触型体温計」10台を野田村に寄贈しました。この取組は、NPO法人北いわて未来ラボ(中平 均理事長)が地域貢献事業として企画している「コロナに負けるな2020教室」と本校の魅力化促進事業との協働したものです。生徒達は、提供された温度センサーや液晶画面などの材料の組立とその基板を収納するケース等の設計・製作に取り組みました。授業で身につけた知識や技術を駆使しながら約三週間かけて据え置き型(縦10cm、横6.5cm、厚さ3cm)の体温計を完成させました。製作にあたった石原 福太郎君(2年)は、「ケースに基板がうまく収まらず何度も失敗を繰り返したが完成できた。」鹿糠 空也君(2年)は「配線の接続に苦労したが上手く動いてくれた」等と、完成までの苦労を滲ませていましたが、達成感や充実感に浸っていました。小田 祐士村長から「技術を活かした地域貢献に感謝します。いただいた体温計を村民の感染防止対策に有効活用させていただきます。」とお礼の言葉をいただきました。今後は、久慈市にも寄贈していく予定です。



角椅子 寄贈（建設環境科）

12月22日(火)に、建設環境科建築コースの生徒が製作した「角椅子」14台を野田村に贈呈しました。これは、野田村が進めている、「村産材を利用した地域コミュニティ向上事業」と本校の魅力化促進事業とが協働し、2年生10名が実習の時間を活用して取り組んだものです。製作した角椅子は、同村の玉川児童館で活用される予定です。上野 翔生君(2年)は「実習で身につけた技術を活かしながら地域の要望に答えることができた。とてもやりがいを感じた。」と言っていました。本校が目指す実学教育が具体的な形になった取組です。



各学科で進路報告会

12月22日(火)のLHRの時間に各学科で1・2年生に向けた進路報告会が行われました。3年生からのアドバイスをいくつか紹介します。「面接練習は自信がつくまでやるべき」「SPI(適性検査)の学習が大事」「欠席、遅刻が多いと不利です」「進路意識を早くもつ」「成績が良いと自信がもてる」「志望動機をはっきりと言えるように」「過去問題への取組を徹底する」「小論文対策をしっかりと」「資格取得が進路に有利」「明るく挨拶をする」「笑顔で対応する」「今をがんばれ」「高校での様子を聞く質問が多いのでまとめておくとよい」参考にしましょう。



「電子機械科」



「建設環境科」